決意固める組合員（俣水）

就労しても会社には打撃

安定賃金に反対して斗いをつづける新日本窒業水俣労組の斗争は、そのご八月二十七日熊本地裁が「妨害排除の仮処分」を認めたため重要段階に入ったが、組合では三十一日からちょう発をさけ就労を認めることとした。

組合では就労を認める理由として(1)第二組合員全員で生産をつづけても、平常生産の三、四割にしか達せず、会社側に十分打撃を与えうる。(2)平和説得も限界に達し、警察側の威力業務妨害罪適用の口実を与えるおそれがある、の点をあげている。

しかし、現地の組合員は「弾圧がいかに狂暴でも、労仂者の団結を守って、安定賃金粉砕の勝利を信じ、さいごまで斗いぬく」と決意を固めている。八月末の総評大会でも、秋の重要な斗いとして全面的支援を決議、斗争資金のカンパを準備している。

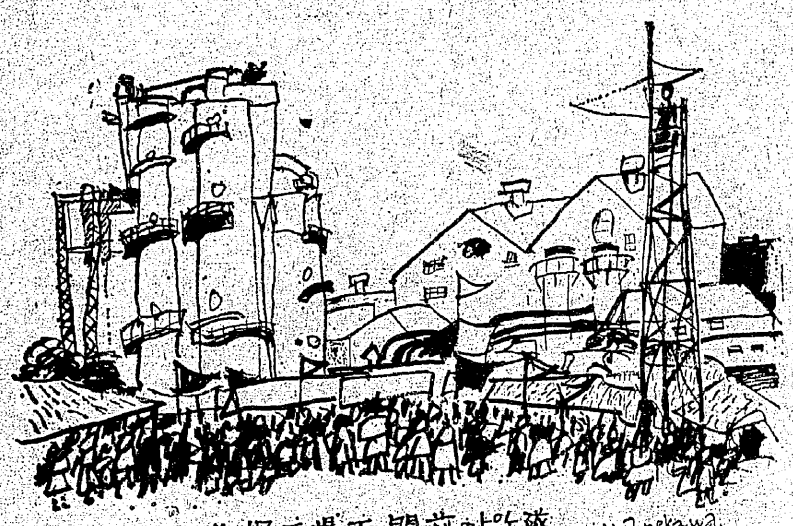
共斗で抵抗を強めよう

三池労組ではつぎつぎと交替要員を出して支援オルグを送っているが、いくら「安定賃金」という飾り言葉をつけても、三池斗争を斗ったわれわれには会社の意図が明確である。

いまや水俣の斗いは全総評の斗いに発展しており、水俣労組の団結と抵抗の強弱がこんごいよいよ重視されなければならないし、そのためにわれわれは動員に従っているが、これは単なる支援オルグではなく、労仂者のこんごの抵抗を深く考えた上での共斗である。すなわち「第一組合がだんだん減っている」などという皮相的な第三者的な意識でなく、フアッショ化した資本に抵抗する力こそ大切で、その力を拡大強化することに奮斗する仲間同士の共斗である。

もっと明確にいえば、長期抵抗路線の確立は、三池・水俣をふくめた全労仂者の斗いにとって緊急事項だということである。

不当に逮捕された仲間たちの犠牲その他も、このような労仂者全体の中で生かされねばならないし、三池の組合員としてオルグに行ったものと行かないものの区別なくこのような水俣斗争と三池斗争との意義ははっきりしているはずである。



市議会代表が陳情

炭労は石炭調査団の答申案提出を前にして、いま政転斗争をはげしく斗っているが、大牟田市議会でもこのほど代表が上京して、石炭対策について関係各省に陳情行動を行なった。

大牟田市議会では去る三月の定例市議会で「石炭対策と総合エネルギー政策に関する要望書」が議決されており、このほどつぎのような確認事項を決定した。

一、炭鉱労仂者の雇用の確保に努めるとともに、労仂者の雇用安定については、最大限の努力を払い、転換転場と生活保障のない合理化とならないように指導を行なうこと。なお、離転者の雇用促進、生活の安定、鉱山保安の確保に一層適切な措置を講ずること。

二、最低賃金制を確立すること。

三、石炭産業の保安完全確保を政府が強力な措置をとること。

四、産炭地発電、その他の企業の誘致をはかること。

五、エネルギー計画、安定転場、生活保障、保安確保、鉱区、流通過程などを統合規定する「エネルギー基本法」を制定すること。

市議会としては、この確認事項を調査団の答申および、これにもとずく政府の施策で実現されるように、上京団によって各方面に陳情することとなったのである。

上京団は三名、八月二十七日から九月一日まで、通産省、労仂者、調査団、石炭対策特別委員会、地元出身代議士にそれぞれ陳情し、市議会で議決した要望書を手渡し趣旨の実現方を伪きかけた。

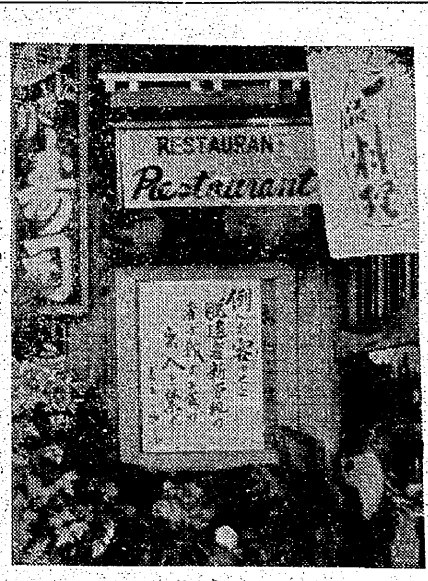
なお、上京者として革新クラブからは中川末義議員（本所支部）ほか境（新政）津留崎（刷新）両議員の二名が上京した。

新労お断り

水俣の新橋すし屋さん

連日はげしい斗いをつづける水俣の街に足をふみ入れるオルグはすでにご承知のはずだが、さきごろから新日窒工場労組（第一組合）支持の〝すし屋〟さんが現われて市民の目をひいている。

このすし屋さんは、同市桜井町にある〝新橋すしや〟で、入口わきに「たとえお客にせよ、脱落者・新労組のものはわが店の出入りを禁ず」と書いたはり紙を掲げている。



これが新橋すし屋の店頭

店主は東京神田で育ったチャキチャキの江戸っ子かたぎ。神田幸平さんという五十四、五才のオヤジで水俣にきて十年。

この店では、はり紙につづいてこんどは店の前に縦五十センチ、横三十センチ、深さ四十センチの木箱に豆を入れた慰問箱をおいた。工場労組員に食べてもらおうというものだが〝豆は最後にはじき返す〟ので縁起がいいといっている。

初優勝かざる

四山支部卓球チーム

名地区労仂組合体育大会は九月九日、荒尾・玉名地区の各組合チームが参加してひらかれたが、三池労組からは四山支部が卓球、ソフトボールにチームを出場させ敢斗し、卓球チームは優勝、ソフトボールでも善斗し優勝こそ逸したが三位をとり、それぞれ好成績をおさめた。

初出場で優勝した卓球チームは六名、荒尾高校で参加十二チームのもとに試合に勝ちすすみ、優勝戦は荒尾市転労と対戦して見事にこれを撃破、初出場で初優勝の栄冠を勝ちとったものである。

【写真は優勝盾と数々の賞品を手に優勝した卓球チーム＝一名欠席】

【時のことば】

十月から九〇%になる

貿易自由化率

諸外国との間に輸入制限や、外資導入の制限枠を取り払って自由な交流を行なうのが一口にいって貿易為替の自由化だが、このうち輸入物資のなかでどれだけ自由化されているかを示す比率を自由化率という。基準年次の輸入総額のうち自由化品目の輸入総額が何パーセントを占めるかを計算して算定する。

日本での自由化率は三十六年四月の六二%から同年七月六三%、十月六八%、十二月七〇%、三十七年四月七三%と上昇し本年七月には九〇%の達成を目標にして準備を進めている。政府は、自由化は世界の大勢であり、そのため労資協力して合理化を促進し、低コストの商品をつくって、外国商品に対抗することが必要だ、と繰り返し強調している。しかし今日の自由化はアメリカ資本、商品が〝自由〟に日本に流れこむ可能性のある一方、日ソ、日中の貿易面を閉ざしているところに特徴と危険がある。そして最近の経済危機のなかで、無理押しの自由化は延期して、日ソ、日中貿易を広げるべきだとする意見が産業界にもあがっている。

成功だった学習会

—大谷分会で初の学習—

大山繁子

主婦会三川支部大谷分会では、さる八月三十日集会所で第一回学習会をひらきました。

ことしはとくに学習ということに重点をおいて分会運営をしたいと思っています。

就労後苦しい差別の中で二年目を迎え、生活の苦しさから家庭を留守にし、内転へ出かける主婦もめっきり多くない、主婦会活動も昨年よりも異った点で困難があります。

長期に抵抗する夫たちの斗いを理解し、ともに斗うためにはどうしても学習の重要さを感じ、まず学習をということで改選後五カ月で実現をみました。

班長会議でも月に一回は集まって学習会と話し合いをしようとの意見もあり、まず母親大会に分会役員の方が出席されているので、その報告会をかねた座談会から早速実行しました。

始めての試みではあり、集まるだろうかと心配でしたが、そくそくと集まり会場いっぱいになりました。

十時にようやく閉会、別れるときはつぎの学習会を約束して帰る有様でした。

後日、水俣で不当逮捕された緒方組織部長の家族激励に行き、たいへん喜こばれました。

まず県大会、つぎに中央大会を日本婦人会議と新日本会議の方から報告をしてもらい、座談の中で婦人運動問題にも発展しました。

つぎに水俣の話しにほいり、三池のオルグをつぎつぎに逮捕するという弾圧への怒りが、家族への激励という具体的行動へと進展し、また「地区から」というふうに話し合いたい」といわれ、うれしくなりました。大勢集まったこと、終わりまで帰る人もなく話し合いができたことこの二つの点だけでもよかったと思います。

九月の学習会も準備段階に入っており、第一回よりも第二回というように、発展性のある学習会になるようにと努力しています。

後日、水俣で不当逮捕された緒方組織部長の家族激励に行き、たいへん喜こばれました。

俳句

宮浦支部　高椋竜生

おしなべて坑夫短命ちちろ虫
肩もんでくるる子どもと虫を聞く
虫きいて吾がぬくもりにありにけり
復しさの今もかわらぬ虫をきく
天幾のなき極楽の虫をきく

詩

どんなときでも

宮浦支部　高椋竜生

どんなときでも
手をとりあって
すすもう
力が湧いて来るから
どんなときでも
ことばを掛けあって
すすもう
温かいものが流れあうから
どんなときでも
胸を張って
すすもう
光りが呼んでいるから
どんなときでも
怯まず
すすもう
そこに未来があるから。

（昭和37・9・1）

就職対策便り

大永紙工KK募集

一、採用人員　一〇名
一、採用資格　来春中、高校卒見込みの男子
一、勤務地　大阪
一、募集締切　九月末日まで支部及び本部就対部へ申込みのこと
一、提出書類　履歴書、写真、学業証明書、戸籍抄本各一通
一、試験課目　高校（国語、数学、英語、作文）
中学（国語、数学